

公共事業再評価調書（農林水産部）

部課室名	漁 港 課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課 長 高崎 伸彦 (菅野 晴行)	内線	4172 (4179)
------	-------	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	漁港漁村事業	事業名	事業区間	総事業費
		漁港修築事業	香住漁港	約81億円

所在地	事業採択年	着工年度	完成予定年	進捗率 H12末
城崎郡香住町境・一日市・若松・香住	H6年度	H6年度	H13年度	96%

事業の目的	事業内容
当漁港は、日本海における沖合漁業の陸揚流通加工の拠点漁港であり、本事業により外郭施設、係留施設及び用地等の基本施設整備を行い、漁港機能を強化し、漁業活動の円滑化及び安全性の向上を図る。	防波堤 440m 護岸・潜堤 980m 岸壁 130m 物揚場 90m 道路 240m 用地 30,400m ²

進捗状況	西港においては、平成12年度末までに、外郭施設、係留施設及び「ふれあい漁港漁村整備計画」に基づく都市住民とのふれあいの場としての基盤整備は完了する。 東港においても、現在外郭施設である西防波堤を延伸整備中で、防波堤基部陸域との取付部のみを残して概成している。
------	--

評価視点	評価結果の説明
------	---------

(1)必要性	当漁港は、但馬地域における沖合漁業の陸揚流通加工の拠点漁港であり、全国的な利用もなされている第3種漁港である。 西港の基本施設の整備は、ほぼ完了しているものの、東港については、西防波堤基部が未完成であるため、冬期風浪時等荒天時における荷捌所前面の静穏性が十分確保されていないことに加え、沿岸漂砂による港内泊地への砂の堆積があることから、本計画では、第9次漁港整備長期計画に引き続き東港において西防波堤の延伸整備を行い、陸揚作業の効率化と安全性の確保を図る。
(2)有効性・効率性 ・有効性	西防波堤の延伸整備により、港内の静穏度が向上し、陸揚作業等岸壁で行われる作業の効率化や安全性の向上など漁業活動の円滑化及び高齢漁業者の労働軽減も図られることに加え、港内泊地への漂砂の侵入堆積の防止が図られる。 B/Cは1.28である。
(3)環境適合性	西防波堤基部の陸域が自然公園地域に指定されていることから、自然環境へ大きな影響を与えないよう、防波堤コンクリート面の化粧型枠による周辺景観への配慮や防波堤ケーソンに消波透水パイプを組み込み、港内外の海水交換及びエアレーションによる港内の水質対策を行う等、施設構造や配置について配慮している。
(4)優先性	西防波堤の延伸整備により、港内静穏度の向上や港内泊地への漂砂の防止を図り、陸揚作業の効率化や安全性の確保が必要であり、早期の整備が望まれる。

農林水産部の考え方

再評価の結果	継続	左の理由	上記理由により継続が妥当である。
--------	----	------	------------------